

# 地震動観測報告

— その2 昭和62年9月—昭和63年3月 —

八戸工業大学建築工学科地震動観測運営委員会\*

## Earthquake Observation Report

— Part II 1987, September—1988 March —

Earthquake Observation Committee of Department of Architecture  
of Hachinohe Institute of Technology

### Abstract

This is a report on the outline of the earthquake observation records, from September 1987 to March 1988. Fig. 1 and Fig. 2 show the epicenter locations of the earthquakes. Fig. 3 shows the relation of the azimuth and the Magnitude. Fig. 4 shows the relation of the azimuth and the epicenter distance (km). In order to determine the epicenter location, magnitude, and the other values, "The Seismological Bulletin of The Japan Meteorological Agency" (September, 1987-March, 1988).

### 1. はじめに

本運営委員会では、昭和62年4月より、本学建築工学科棟と周辺地盤を対象とする地震動観測を行なってきた。昭和62年4月から同年8月までの観測記録の概要は、第1報として文献1にまとめた。

本報告では、昭和62年9月から、昭和63年3月までの観測記録を整理する。

### 2. 観測記録の概要

昭和62年9月から、昭和63年3月までに、41波の地震動が観測された。いずれも、トリガーレベルは0.3ガルである。これらの記録の中で、No. 76の記録は、装置の不調のため欠測であ

る。

表1-1, 1-2に観測地震動の諸元を示す。これらのデータは、地震月報(文献2~8)によって求めた。図1および図2に、観測された41地震動の震央位置、観測点近傍の震央位置の分布を示す。また、図3および図4には、観測点から見た震央の方位角と、マグニチュード分布および震央距離を示す。

41地震動の主な震源地域は、青森県東方沖、岩手県北東沖、岩手県北部である。観測記録中の最大加速度値は、自由地盤で27.3ガル(建物3階で45.1ガル)である。

### 備 考

表1-1, 1-2の各項目の内容は、次のとおりである。

項 目	内 容
No	観測地震動の番号(前報より継続)

平成元年10月31日受理

- 八戸工業大学建築工学科
- 委員：内山和夫，真山文彦，伊藤敬一，毛呂 眞，滝田 貢